

未来ノート

-202Xの君へ-

テニス

錦織圭

子ども時代の夢

大切にできる言葉

父親からの教え

世界へはばたく

「努力」小6の時も今も

錦織圭（日清食品）は中学生のころ、自らを奮い立たせる「格言作り」に熱中した。

「今だ 勝負しろ いいなく」

チャンスと見極めたら一気に勝負に行け、というテニスに直結するものもあれ

ば、人生全般に当てはまる

「作品」も残っている。

「いつでも だれでも

ラッキーはくる そう思え！」

え！」

「生きるのがつらい時

いつも自分をふるいたたすように」

ように」

「この命 どう使う」

今年6月、取材で久しぶ

りに錦織本人に見てもらっ



「努力」と書いた錦織のサイン

たら、「うわあ、すごい」と書いてますね。本当におれが書いたのかな」と苦笑しつつ、懐かしがった。

27歳の今、自分をもり立てる言葉は何かを聞いた。

「一言になっちゃうけど、『努力』ですね。今年

は優勝とか、パーンという

派手な結果が出ていない。

でも、毎日の積み重ねで

努力するしかない。心が

折れたり、あきらめたりし

たら、そこで負けですか

ら」

錦織は小学6年のとき、

学校で自分を紹介する新

聞を作り、「好きな言葉」

に「EFFORT→努力・

継続」と書いた。「少年時

代から同じですね」と聞

くと、真剣な表情で言っ

た。

「今年はまだ意味合いが

違った努力というか。すぐ

報われるかわからないけど、努力しないことには始まらない。たとえ結果がなくても……」。今季は錦織自身、停滞感を感じてきた。30代のベテランたちが健在ぶりをアピールし、若手の台頭も著しい。中堅世代で板挟みにあうなかで戦う覚悟がのぞいた。今は、右手首痛からの早期復帰をかなえる努力も加わる。

錦織は6月の取材で、少し話を広げた。「一つのことにとこだわらず、新しいことに努力する勇氣も大切。一度きりの人生だから、挑戦する権利があるだけ幸せ」。そう言うってから、付け加えた。「まあ、僕にはテニス以外ないですけど」

（稲垣康介）

◆「未来ノート」スクラップブックは、全国のASA（朝日新聞販売所）でお配りしています。インターネットの特設ページではイベントやスクラップブックについて詳しく紹介しています。「未来ノート 朝日新聞」で検索してください。